

平成29年度進捗評価シート
萩市歴史的風致維持向上計画（平成21年1月19日認定）
（最終変更平成28年3月15日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画の実施体制の一元化 市民団体との協働	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 歴史的町並みと調和した良好な景観の形成	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 萩時代まつり	3
2 萩夏まつり	4
3 萩の和船大競漕「おしくらごう」	5
4 浜崎伝建おたから博物館	6
5 ワンコイントラスト(百円信託)運動	7
6 萩ものしり博士検定・子どもものしり博士検定	8
7 萩・万灯会	9
8 萩・大茶会	10
9 萩ものがたり出版事業	11
10 萩焼まつり	12
11 語り部活用事業	13
12 萩・幕末維新検定	14
13 萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業	15
14 地域コミュニティ組織づくり事業	16
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・修理等に関する事項	17
2 文化財の普及・啓発等に関する事項	18
3 文化財施設等の活用に関する事項	19-20
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 世界遺産5資産 萩市が修復計画 政府に提出 ほか	21-23
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 歴史まちづくりの効果	24

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	25
--------------------------------------	-----------

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
計画の実施体制の一元化 市民団体との協働		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 計画に定める事業等の実施及び計画変更については、市政全般の調整を行う総合政策部との連携のもと、歴史まちづくり部が中心となっており、「NPO萩まちじゅう博物館」、「浜崎しっちゃん会」、「NPO萩観光ガイド協会」などの民間団体等との協働により計画を推進していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

行政の組織体制においては、平成28年度に総合政策部を総務企画部に改編、歴史まちづくり部をまちじゅう博物館推進部に改め、ジオパーク推進課を設置するなど、萩の歴史的風致を活かしたまちづくりを企画政策課と連携して総合的に進める体制を強化した。民間団体の取り組みについては、萩市のまちづくりの基軸である「萩まちじゅう博物館」を推進する中核的団体であり、萩市歴史的風致維持向上支援法人である「NPO萩まちじゅう博物館」や重要伝統的建造物群保存地区の保存活用に取り組む「浜崎しっちゃん会」、「萩往還佐々並どうしんてやろう会」、市内の文化財施設の管理やガイドを行っている「NPO萩観光ガイド協会」などが、それぞれの資源を活かしたまちづくりに取り組んでおり、これらの団体との協働により計画を推進している。

NPO萩まちじゅう博物館会員数 202人、NPO萩観光ガイド協会会員数 98人
 浜崎しっちゃん会会員数 69人、萩往還佐々並どうしんてやろう会会員数114人

(平成30年3月現在)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題(自由記述)
----------------	---------------------

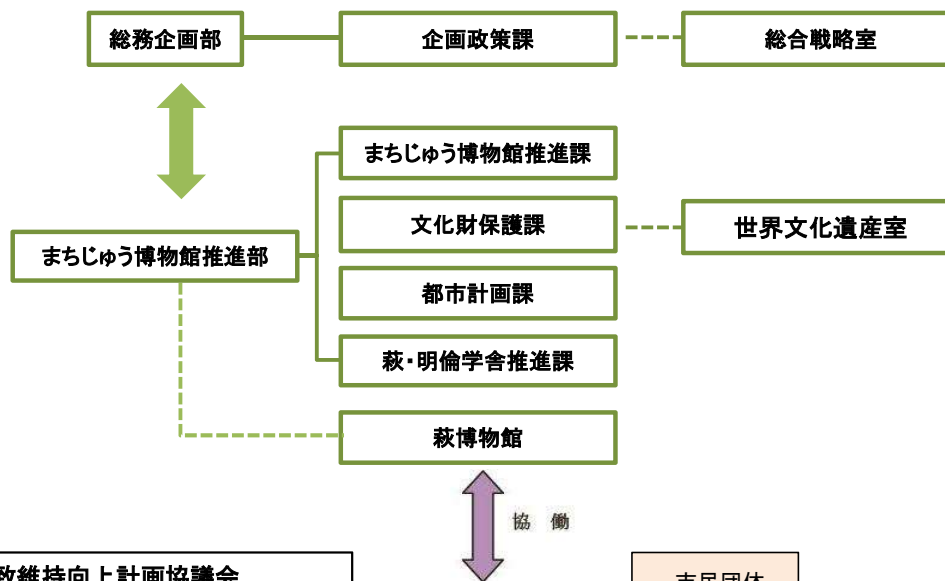
■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

計画変更、進行管理及び評価については、まちじゅう博物館推進課、事業実施については各事業担当課が行っているが、適正な計画の推進と事業実施を図るため、定期的な庁内担当者会議等の開催を検討する。

状況を示す写真や資料等

歴史まちづくり推進体制の確立

○平成29年度の推進体制



萩市歴史的風致維持向上計画協議会

- 開催日 平成30年3月26日
- 議題
 - ・進行管理・評価について
 - ・歴史的風致維持向上計画の変更について



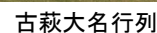
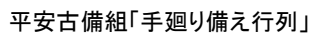
評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	平成29年度																										
			現在の状況																										
歴史的町並みと調和した良好な景観の形成			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																										
計画に記載している内容	地区や地域を定めて指定している文化財の周辺部は未指定地域であることから、指定している地区や地域とは極端な景観の差が現れることになる。これを解消するために新築等に際しては、都市計画法及び建築基準法に基づく萩市の都市計画用途地域と景観法に基づく景観計画の重点景観計画区域の設定により規制誘導を行い良好な景観を確保するとともに、地区や地域の指定拡大や追加に努める。歴史的価値が特に高い建造物の周辺には緩衝地帯を設け、周辺環境の保全に努める。																												
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																													
重点区域は、歴史的風致を色濃く残す萩市の中心市街地と重なる。現在、都市計画法に基づき、地域の歴史的特性に合った土地利用が図られるよう適切な用途地域の指定を行っている。また、景観法に基づき平成19年12月に策定された萩市景観計画では、重点的に景観の形成及び保全を図る地域である重点景観計画区域の多くを重点区域内において指定し、地域の特性に応じて詳細な景観形成基準を定め、建築物の高さを主に16m以内又は10m以内に制限するほか、良好な景観形成のための指導等を行っている。さらに、萩市屋外広告物等に関する条例では、重点景観計画区域については自家用広告物以外の広告物の掲出を原則禁止する禁止地域に指定するなど強い制限をかけ、屋外広告物掲出の誘導を行っている。このような施策を住民の理解を得ながら行っており、平成24年4月には萩市景観計画を改訂し、更なる歴史的風致の維持及び向上に努めている。 ○平成29年度 萩市景観区域内行為届受理件数 71件(平成30年3月31日現在)																													
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																											
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		景観計画や屋外広告物等に関する条例による規制の理解を得ることに苦慮することがあるが、萩市の景観に対する取り組みを十分に説明し理解していただいた上で基準に適合させた、建築物・工作物等の新築等を行っていただくこととしている。																											
状況を示す写真や資料等																													
参考: 屋外広告物等地域区分図(都市計画区域内) <table border="1" style="text-align: center;"> <caption>禁止地域</caption> <tr><td style="background-color: orange; width: 20px;"></td><td>第1種禁止地域</td></tr> <tr><td style="background-color: yellow; width: 20px;"></td><td>第2種禁止地域</td></tr> <tr><td style="background-color: red; width: 20px;"></td><td>第3種禁止地域</td></tr> <tr><td style="background-color: pink; width: 20px;"></td><td>第4種禁止地域</td></tr> <tr><td style="background-color: green; width: 20px;"></td><td>第5種禁止地域</td></tr> </table> <table border="1" style="text-align: center;"> <caption>許可地域</caption> <tr> <td style="background-color: red; border: 1px dashed black; width: 20px;"></td><td>第1種許可地域</td> <td style="background-color: white; border: 1px solid black; width: 20px;"></td><td>第6種許可地域</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; border: 1px dashed black; width: 20px;"></td><td>第2種許可地域</td> <td style="background-color: white; border: 1px solid black; width: 20px;"></td><td>第7種許可地域</td> </tr> <tr> <td style="background-color: green; border: 1px dashed black; width: 20px;"></td><td>第3種許可地域</td> <td colspan="2" rowspan="3">※第7種許可地域は都市計画区域外地区</td> </tr> <tr> <td style="background-color: blue; border: 1px dashed black; width: 20px;"></td><td>第4種許可地域</td> </tr> <tr> <td style="background-color: yellow; border: 1px dashed black; width: 20px;"></td><td>第5種許可地域</td> </tr> </table>					第1種禁止地域		第2種禁止地域		第3種禁止地域		第4種禁止地域		第5種禁止地域		第1種許可地域		第6種許可地域		第2種許可地域		第7種許可地域		第3種許可地域	※第7種許可地域は都市計画区域外地区			第4種許可地域		第5種許可地域
	第1種禁止地域																												
	第2種禁止地域																												
	第3種禁止地域																												
	第4種禁止地域																												
	第5種禁止地域																												
	第1種許可地域		第6種許可地域																										
	第2種許可地域		第7種許可地域																										
	第3種許可地域	※第7種許可地域は都市計画区域外地区																											
	第4種許可地域																												
	第5種許可地域																												

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

状況を示す写真や資料等



奉納行列等コース図



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度
		現在の状況	
秋夏まつり		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和38年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	藩政時代から続く、萩市浜崎伝統的建造物群保存地区に位置する住吉神社の祭りに併せて行う。祭りの核となるのが、萩藩の御座船唄であり、山口県無形民俗文化財に指定されている「お船謡」の奉納や「住吉神輿」の奉納である。藩政時代から今に継承される伝統行事を次世代に受け継ぐことにより、萩市の歴史的風致の維持向上に繋がる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日	平成29年8月1日(火)～3日(木)		
開催場所	萩市内各所		
入込数	108,000人		
◆秋夏まつり主なスケジュール			
○8月1日(火)20時～21時 「日本海大花火大会」			
○8月2日(水)17時～21時 「市民総踊り(ヨイショコショ、トコトンヤレ節)ほか」			
○8月3日(木)18時～21時 「お船謡、住吉御輿、踊り車ほか」			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

「お船謡」の様子



「住吉神輿」の様子



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度
萩の和船大競漕「おしくらごう」		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成16年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	藩政時代より受け継がれる「おしくらごう」と呼ばれる和船競漕は、玉江浦地区厳島神社の例祭に合わせて行われる。伝統文化を継承していくことにより、歴史的風致の維持向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	平成29年6月4日(日)9時00分～		
開催場所	萩市橋本川下流		
入込数	15,000人		
「おしくらごう」は、以前は、海上で行われていたが、近年は橋本川下流に場所をかえ、多くの市民や観光客が観覧できるようになった。ねじりはちまき・下帯姿の若者たちが和船に乗り込み、掛け声をあわせて櫂を漕ぎ、銀色の波しぶきをあげ、往時を偲ばせる白熱したレースを繰り広げた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

「おしくらごう」の様子



【イベントチラシ】

萩の和船大競漕 おしくらごう

2017 6月4日 9:00～13:00 萩市玉江浦 (橋本川下流域河川敷)

スケジュール

- 9:00 開会式
- 9:30 中学生の部和船競漕
- 10:30 一般の部和船競漕
- 11:30 中学生・一般の部決勝
- 12:00 玉江浦「おしくらごう」
- 12:30 閉会式

会場

同時開催

玉江浦ふるさとまつり

- 8:30 船山車道中
- 12:00 おしくらごう (行楽場は玉江浦)
- 13:30 アトラクション・カフェ・舞踊
- 15:50 子供大会・ゲーム
- 16:30 ちまき

問い合わせ: 山口県漁業協同組合玉江浦支店 0838-25-1493

主催: 萩の和船大競漕実行委員会
 共催: 萩市、山口県漁業協同組合、萩市水産課、萩市観光協会

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
浜崎伝建おたから博物館		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成10年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	江戸時代並びに明治、大正及び昭和初期の伝統的建造物が約130棟残る萩市浜崎重要伝統的建造物群保存地区を舞台に、家々に伝わる「おたから」を歴史的な建物内で展示・公開するとともに、萩の特産品販売なども行う。本事業を通じて歴史景観に対する意識の高揚を図ることにより、萩市の歴史的風致の維持向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	平成29年5月21日(日)9時～15時		
開催場所	萩市浜崎重要伝統的建造物群保存地区 入込数 9,000人		
浜崎地区のおたからを広く情報発信するため、地元の「浜崎しっちゃん会」を中心に各種催事が行われている。今回は、20回を記念した萩市平安古備組による藩政期の大名行列の開催や、保存修理工事が完了した伝統的建造物の公開、伝建地区ミニツアー、新鮮な海の幸が味わえる市場食堂、国指定史跡旧萩藩御船倉でのオカリナコンサートなどが行われた。また、前日の記念式典では、浜崎地区の地謡組により山口県指定無形民俗文化財「住吉神社お船謡」が披露された。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

「浜崎伝建おたから博物館」の様子



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度
現在の状況		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

ワンコイントラスト(百円信託)運動

事業期間 平成17年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩に残る未指定の文化遺産を保存、活用、継承するため、市内の文化財施設などにトラストボックス(寄付金箱)を設置し、ワンコイン(100円)のトラスト(信託)を求める。財政支援を得にくい未指定の文化遺産の保存を図ることにより、萩市の歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

トラストボックス設置箇所 9箇所

①道の駅「萩一まーと」 ②萩博物館 ③道の駅萩往還内「松陰記念館」 ④旧山村家住宅 ⑤渡辺蒿蔵旧宅 ⑥有備館 ⑦玉木文之進旧宅 ⑧萩・明倫学舎 ⑨旧小林家住宅(萩往還おもてなし茶屋) ⑩大板山たたら館
 トラスト金額 累計30,797,482円 (平成30年3月31日現在)

本年度より新たに、旧小林家住宅(萩往還おもてなし茶屋)及び大板山たたら館にトラストボックスを設置した。設置箇所は計10箇所となった。

また、本年度の信託金は、次年度以降の助成事業の実施に向け積み立てることとした。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	文化遺産の保存のため、新たに整備された市内の施設などにトラストボックスの設置を検討する。

状況を示す写真や資料等

今までに修復などを行った萩の宝物

第1号 井上勝旧宅門

修復後



名 称：井上勝(萩藩の父)旧宅門
 物件の公開：萩市土蔵208-1
 修復年月：平成18年4月

第2号 猿田彦面山車

修復後



名 称：猿田彦面山車
 物件の公開：住吉神社のお祭り
 修復年月：平成18年10月

第3号 平安古備組道具類

修復後



名 称：平安古備組道具類
 ※十字字線や部目付線など10点
 物件の公開：萩時代まつりや萩博物館で一般公開
 修復年月：平成19年7月

第4号 御網代車

修復後



名 称：御網代車
 物件の公開：毎年11月に行われる金谷天満宮祭りの御神幸
 修復年月：平成20年10月

第5号 長州砲

英国より里帰りを実現



名 称：長州砲(萩野流一貫百貫砲)
 物件の公開：萩博物館で期間限定公開
 重 量：約20トン
 修復年月：平成20年8月から平成21年5月末日まで

第6号 伊藤博文公先祖の墓碑

修復後



名 称：伊藤博文公先祖の墓碑
 物件の公開：萩市中央公園にて常時公開
 修復年月：平成21年9月

第7号 高杉晋作立志像

銅像建立



名 称：高杉晋作立志像
 物件の公開：史跡萩城下町にて常時公開
 建立年月：平成22年10月

第8号 奇兵隊隊服

奇兵隊隊服を再現



名 称：奇兵隊隊服
 物件の公開：萩時代まつりや萩博物館で一般公開
 完成披露：平成25年6月

第9号 久坂玄瑞進撃像

銅像建立



名 称：久坂玄瑞進撃像
 物件の公開：萩市中央公園にて常時公開
 建立年月：平成27年1月

第10号 井上勝志気像

銅像建立

名 称：井上勝志気像
 物件の公開：萩駅前にて常時公開



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
萩ものしり博士検定・子どもものしり博士検定		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成17年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩ものしり博士検定では、萩の歴史、文化、自然にまつわるストーリーをクイズ形式で学ぶことのできるテキストを題材に試験を実施している。市民や観光客の参加により、萩市の歴史的風致を広く発信している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	平成29年11月26日(日) 10時30分～ ・萩ものしり博士(修士課程)45分間／テキストより100問出題 全問択一式 80問以上正解で合格 ・萩ものしり博士(博士課程)90分間／テキストより100問出題 記述式・択一式 80問以上正解で合格		
開催場所	萩博物館、萩セミナーハウス 平成21年度にテキストを改訂し、民俗、自然の情報を増やした。平成20年度から開催している「子どもものしり博士検定」については、平成24年度から市内の小学生は、各学校で受検する方式に変更し、平成29年度は計368名が受検した。また、検定実施日午後開催された、まちあるきガイドツアーイベントに受検者19名が参加した。		
進捗状況	※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

■萩ものしり博士検定 受検者・合格者数

修士課程				
年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率
H17	250人	234人	213人	91.0%
H18	115人	105人	94人	89.5%
H19	88人	74人	71人	95.9%
H20	81人	70人	56人	80.0%
H21	81人	76人	72人	94.7%
H22	70人	66人	61人	92.4%
H23	94人	89人	85人	95.5%
H24	97人	89人	83人	93.3%
H25	46人	44人	42人	95.5%
H26	55人	49人	46人	93.9%
H27	68人	65人	61人	93.8%
H28	68人	62人	56人	90.3%
H29	48人	42人	35人	83.3%
合計	1,161人	1,065人	975人	91.5%

博士課程				
年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率
H18	136人	129人	23人	17.8%
H19	89人	81人	32人	39.5%
H20	59人	53人	20人	37.7%
H21	57人	52人	11人	21.2%
H22	39人	36人	11人	30.6%
H23	37人	34人	8人	23.5%
H24	41人	39人	10人	25.6%
H25	38人	33人	10人	30.3%
H26	18人	17人	2人	11.8%
H27	26人	23人	8人	34.8%
H28	32人	29人	9人	31.0%
H29	27人	24人	8人	33.3%
合計	599人	550人	152人	27.6%

子どもものしり博士 (市内各小学校で受検)	
～H23	124人
H24	791人
H25	450人
H26	440人
H27	394人
H28	404人
H29	368人
合格者	2,971人

検定日当日の様子



まち歩きイベントの様子

検定テキスト
「萩ものしり博士」子どもものしり博士検定
用テキスト(改訂版)
「萩ものしりブック」

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
萩・万灯会		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和42年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩・万灯会は、萩藩主毛利家の菩提寺である大照院と東光寺(いずれも重要文化財)で開催される。萩藩主とその一族を弔うための伝統行事であり、本事業の開催によって萩市の歴史的風致を広く発信している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◆大照院<迎え火> 開催日時 平成29年8月13日(日) 19時30分～22時(20時～墓前供養) 入込数 6,600人 ◆東光寺<送り火> 開催日時 平成29年8月15日(火) 19時30分～22時 毛利氏の菩提を弔うため、石燈籠(大照院、約600基、東光寺、約500基)に入れられたろうそくの火が、幻想的な世界を作り出した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

「大照院」万灯会の様子



「東光寺」万灯会の様子



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度
		現在の状況	
萩・大茶会		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成9年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩焼とともに歴史ある萩の茶の湯文化を紹介するイベント。史跡萩城跡を中心として開催する。萩市の歴史的風致を活用し、萩市の歴史と文化を広く発信している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時 平成29年5月3日(水・祝)・4日(木・祝) 10時～15時 入込数 12,800人 市内4箇所茶席を開催 ①遠州流萩支部【旧久保田家住宅】 ②表千家千萩会【熊谷家住宅】 ③小堀遠州流萩支部【旧厚狭毛利家萩屋敷長屋】 ④裏千家淡交会萩支部【萩城跡指月公園内 花江茶亭】 平成25度からは、旧久保田家住宅と熊谷家住宅を新たな会場とし、城下町散策の周遊を促進している。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

「萩・大茶会」の様子



【イベントチラシ】

とき 5月3日(火・祝)・4日(水・祝)
午前10時～午後3時(雨天決行(3日午前9時30分～観覧式))

ところ (流席)

- 萩城跡指月公園 (遠州流萩支部)
- 熊谷家住宅 (裏千家淡交会萩支部)
- 旧厚狭毛利家萩屋敷長屋 (表千家千萩会)
- 旧久保田家住宅 (小堀遠州流萩支部)

前売券/セット券(清流四席) 2,000円 セット券(清流二席) 1,100円
当日券/一席券 600円

問い合わせ先：萩市観光課(平日のみ) ☎0838-25-3139
(公) 萩市観光協会 ☎0838-25-1750

萩の世界遺産を分かりやすく楽しく紹介!!
萩・世界遺産デジタルセンター
学び舎 まなびや

2017年
2月12日(日)まで
開館時間 9:00～17:00 無休
(最終入場16:30)
場所/旧明倫小学校体育館
(111 萩市江江9602 萩市役所前)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
萩ものがたり出版事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成16年度～	
支援事業名	萩市単独事業	
計画に記載している内容	萩にまつわる歴史、自然、民俗、芸術などの萩の物語(ストーリー)を、読み易いブックレット形式のシリーズとして出版、定期的に刊行する(年間4冊程度発行)。貴重な萩の情報を書籍出版することにより、萩市の歴史的風致を広く発信している。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成29年4月発行 ・萩ものがたり53号「名君 毛利敬親」(毛利博物館顧問 小山良昌 著) ・萩ものがたり54号「萩の世界遺産ー日本の工業化初期の原風景ー」(萩博物館主任学芸員 道迫真吾 著) 平成29年10月発行 ・萩ものがたり55号「最後の門下生 渡辺蒿蔵が語る松下村塾」(京都大学名誉教授 海原徹 著) ・萩ものがたり56号「吉田松陰肖像画の絵師 松浦松洞」(山口県立山口博物館学芸課長 山田稔 著) 平成16年度からの累計発行数56巻		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 萩ものがたり53号 「名君 毛利敬親」 (毛利博物館顧問 小山良昌 著)  萩ものがたり54号 「萩の世界遺産ー日本の工業化初期の原風景ー」 (萩博物館主任学芸員 道迫真吾 著)  萩ものがたり55号 「最後の門下生 渡辺蒿蔵が語る松下村塾」 (京都大学名誉教授 海原徹 著)  萩ものがたり56号 「吉田松陰肖像画の絵師 松浦松洞」 (山口県立山口博物館学芸課長 山田稔 著)		

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
萩焼まつり		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成3年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	本事業は、日本を代表する工芸品である萩焼を広く紹介するため、市内の窯元や販売店が一堂に集結して行う即売会である。萩焼作家の直接指導によるろくろ体験や特産品の販売も行う。本事業の開催で、萩焼が広く知られることになり、萩市の歴史的風致の情報発信を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	平成29年5月1日(月)～5日(祝・金) 9時～17時30分		
開催場所	萩市民体育館		
入込数	29,600人		
内 容	・萩焼窯元等出店事業者 47社 ・ろくろ体験 ・萩焼を使ったテーブルコーディネート展 ・生け花展 ・萩焼抽選会 ・抹茶席 ・特産品の販売		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	萩の春のイベントとして定着しており、リピーターも見られるが、入客数が減少しており、客単価も減少傾向にあるため、集客に繋げるための新しい企画を考案する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

「萩焼まつり」会場内の様子



「萩焼まつり」会場内の様子



出品者自慢の萩焼を展示する萩焼マイカップ展



ろくろ体験の様子



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
語り部活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年度～	
支援事業名	萩市単独事業	
計画に記載している内容	文化財施設などで観光客等に、萩市の豊かな歴史、文化、自然等につわる物語(ストーリー)を語る「語り部」により、萩市の歴史的風致を活用するとともに、歴史や文化を広く全国発信する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・平成30年の明治維新150年へ向けた関連事業として「萩・明治維新を学ぶ 萩の語り部歴史講座」を開催し、観光客等に萩物語を語り広める活動を行った。 【萩の語り部歴史講座①】 開催日時 平成29年9月30日(土)～11月19日(日)の間の土日曜日に開催 開催場所 萩・明倫学舎(復元教室)、渡辺蒿蔵旧宅、平安古かいまがり交流館 【萩の語り部歴史講座②(出前講座)】 開催日時 平成30年2月18日(日)、3月3日(土)、3月10日(土)、3月25日(日)、3月26日(月)、3月30日(金)、3月31日(土)に開催 開催場所 旧萩藩校明倫館内有備館、萩・明倫学舎		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
○萩の語り部歴史講座の様子① 		
○萩の語り部歴史講座の様子②(出前講座) 		
○萩の語り部歴史講座① 演題：「晋作VS玄瑞」「長州を救った吉川経幹」「吉田松陰と池田屋事件」「山田顕義 (Part1)」 「古地図で歩ける萩のまち」「世界最初の松陰の伝記について」「幕末を駆け抜けた高杉晋作」ほか 実施回数：52回 聴講者数：410人		
○萩の語り部歴史講座②(出前講座) 演題：「長州ファイブの志とは」「明治維新の三傑～木戸孝允(桂小五郎)～」 「吉田松陰教育思想の4つの原点」ほか 実施回数：7回		

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度			
項目		現在の状況			
萩・幕末維新検定		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	平成25年度～平成29年度				
支援事業名	萩市単独事業				
計画に記載している内容	萩・幕末維新検定は、平成30年の明治維新150年に向けた事業展開の一つとして、幕末・明治維新に特化し、萩ゆかりの人物や歴史などをクイズ形式により学びながら、近代日本の礎を築いた人物の関連遺産が数多く残る萩の魅力を再発見するとともに、明治維新胎動の地、萩の歴史的風致を広く情報発信することを目的に実施する。				
開催日時：平成29年5月1日（月）から平成30年3月31日（土）					
開催日時	平成30年2月18日（日） 10時00分から				
開催場所	萩・明倫学舎、JAあぶらんど萩本所（旧萩藩校明倫館横）				
内 容	・検定時間／初級60分中・上級90分間／公式テキストから100問出題／択一式及び記述式 80問以上の正解で合格 ・受検者特典／松下村塾コース／萩博物館コース／有備館コース 平成25年11月に公式問題集を発行。平成30年の明治維新150年に向けて毎年開催。平成27年度の第3回目からは、「初級・入門コース」を設けて3段階制とし、全国から広く受検者を募集している。平成28年10月には、公式問題集改訂版を発行し、第4回目から改訂版より出題。今年度の受検者数は206名で、主催の実行委員会では、今回の検定が最後の開催としている。 また、3コースの受検者特典には116名が参加した。県外からの受検者は東京都や埼玉県など首都圏や関西、中四国、九州、沖縄などから52名の参加があった。				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）				
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	萩市の歴史的風致を広く情報発信するとともに県内外の受検者を開拓するため、新たな検定を検討する。				
状況を示す写真や資料等					
検定会場の様子（初級コース、上級コース）		受検者特典の様子（有備館コース）			
					
○受検者数					
年度	級別	申込者数	受検者数	合格者数	合格率
25	一	410人	353人	204人	57.8%
26	中級	189人	180人	88人	48.9%
	上級	104人	100人	49人	49.0%
27	初級	177人	156人	139人	89.1%
	中級	92人	82人	52人	63.4%
28	上級	82人	78人	34人	43.6%
	初級	182人	150人	126人	84.0%
29	中級	95人	87人	59人	67.8%
	上級	59人	57人	21人	36.8%
29	初級	87人	80人	60人	75.0%
	中級	34人	30人	15人	50.0%
	上級	103人	96人	46人	47.9%
○受検者内訳					
年度	県内受検者	県外受検者	萩市内受検者	計	
25	156人	41人	156人	353人	
26	139人	52人	89人	280人	
27	144人	49人	123人	316人	
28	86人	47人	161人	294人	
29	92人	52人	62人	206人	



検定チラシ

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度
		現在の状況	
萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	文化遺産総合活用推進事業		
計画に記載している内容	萩のまちのおたから(文化遺産)を守り育てながら、誇りをもって次世代に伝えていこうというまちづくりの取組みである「萩まちじゅう博物館」を一層推進するため、まちじゅうに広がるおたから(文化遺産)の調査・認定・公開を行う萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業に市民と協働で取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時:平成29年5月1日(月)から平成30年3月31日(土) 事業実施箇所:江向地区、相島地区、(浜崎地区) 事業主体:萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会 事業内容 ・おたから(文化遺産)の調査・記録作成事業 NPO萩まちじゅう博物館と地域の住民が協働で、おたから(文化遺産)を調査・記録した。(データ作成件数178件) ・おたから(文化遺産)認定事業 文化財審議会委員、萩博物館学芸員等からなる「文化遺産認定委員会」を組織し、おたから(文化遺産)の認定審査を行った。(平成29年度に認定されたおたから(文化遺産)江向地区68件、相島地区79件) ・おたから(文化遺産)データベースの作成 認定されたおたから(文化遺産)をデータベース化し、ホームページで公開するとともに報告会(おたから総会)を開催した。(参加者60名) ・おたから(文化遺産)普及啓発・育成事業 事業実施地域ごとに交流イベントを開催するとともに「おたからマップ」を作成し、市内外へ情報発信した。(交流イベント参加者 江向地区39名、相島地区189名)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		地域のおたから(文化遺産)をその地域に住む住人に再認識してもらい、活用していただくことの必要性を理解してもらう努力が必要。	
状況を示す写真や資料等			
○調査による地域おたからマップの作成			
【平成25年度】 旧松本村地区、明木地区、佐々並地区、むつみ地  【平成26年度】 堀内・平安古・城下町地区、土原地区、川上地域、福栄地域  【平成27年度】 川島・藍場川地区、笠山・越ヶ浜地区、須佐地域、田万川地域 			
【平成28年度】 椿地区、大島地区、大井地区、三見地区  【平成29年度】 江向地区、相島地区、浜崎地区 			

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
地域コミュニティ組織づくり事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成19年度～	
支援事業名	萩市単独事業	
計画に記載している内容	過疎高齢化の進展に伴い、広域的に自治機能を補完し合い、コミュニティの維持及び振興を図る仕組みづくりとして、学校区等を単位とした地域コミュニティ組織づくりを推進し、地域コミュニティの強化を図る。このことにより、各地域に古くから伝わる伝統芸能や伝統行事の継承、自然景観や歴史的景観の保全等が期待でき、もって歴史的風致の維持及び向上を図ることができる。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 過疎化や少子高齢化により、地域の祭礼や草刈等の集落活動が徐々に困難となっている中で、地域の特色を活かした地域づくりを推進するために、「魅力ある地域づくり交付金制度」を創設し、集落や既存の団体の垣根を越えて地域全体で補い合うことができる新たな地域コミュニティづくりを推進している。		
平成29年度交付実績 ・交付地域 6地域(川上、むつみ、旭、福栄、須佐、田万川地域) ・交付金額 32,933千円		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
○魅力ある地域づくり交付金の活用例		
  【須佐地域】 須佐地域ふるさとまつり開催事業 ・須佐中学校生徒がまつりの企画・運営に参加 ・日本最大級のもちまきを実施		
  【福栄地域】 福栄ふるさとまつり開催事業 ・平蕨地区芸能保存会による神楽舞 ・大板山たたらたたら太鼓同好会、福栄小中学校有志、福川保育園児、紫福保育園児による和太鼓演奏 【旭地域】 明木地区農業文化祭 ・明木小学校児童による地区の恩人「彦六・又十郎」の劇		

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
①文化財の修理(整備を含む) ②文化財の保存 ③文化財の周辺環境の保全 ④埋蔵文化財の調査		☒ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容	文化財の修理については、それを構成する部材細部に特に注意し、破損が進んで部材を大きく取り替えることがないように所有者が日常的な手入れを怠らないよう定期的な清掃・点検や関係機関への連絡等の管理体制を確立する。保存管理計画を策定している文化財については、基本方針等に従って適正な保存管理を行っており、今後も計画に基づき保存管理を進めていく。保存管理計画を定めていない指定文化財については、文化財保護法等に基づき、現状変更及び保存に影響を及ぼす行為に対して、個別案件ごとに本質的価値を保全するために許可制による行為の規制を行っている。文化財周辺の環境を保全については、都市計画法及び建築基準法に基づく萩市都市計画の用途地域と景観法に基づく景観計画の重点景観計画区域の設定や歴史的景観保存地区等の緩衝地帯を設け、周辺環境の保存に努める。埋蔵文化財の包蔵地に関しては常に現況を把握するとともに、開発等に当たっては事前に協議を行うよう指導し、できる限り包蔵地を回避するなどの措置を講じ保護に努める。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の修理・保存については、文化財保護指導員と協力し、定期的な各地域の文化財を巡視するとともに維持補修等を適切に実施しつつ、長期的な計画に基づき各年度ごとに定めた保存修理事業や発掘調査を実施している。平成29年度は、平成28年度から着手した萩反射炉をはじめとした世界文化遺産に係る「史跡等整備基本計画」を策定し、世界文化遺産に関連する遺跡等について、新たな整備方針を定めました。また、その他の文化財についても、随時、修復に努めるとともに、未指定文化財の調査なども定期的に進めている。

【平成29年度主要事業】

・重要文化財大照院本堂及び経蔵保存修理工事(継続)

本堂は、渡り廊下や玄関の復旧、堂内の建具や畳工事、電気設備や自動火災報知設備の復旧。そのほか、雨落ち排水溝の整備や軒下土間叩きなどを実施。経蔵は、電気設備工事、八天像保護柵の設置などを実施。(期間:平成22年度～平成29年度)

・伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物等の修理・修景 8件
民間が所有する土塀、門、主屋や納屋の保存修理等を実施。

・文化財の適正な保存と活用方法の計画策定

「史跡等整備基本計画」の策定

史跡萩城跡等整備委員会 (平成29年5月18日)

恵美須ヶ鼻造船所跡及び大板山たたら製鉄遺跡整備委員会 (平成29年5月24日)

萩反射炉整備委員会 (平成29年6月7日)

・埋蔵文化財の調査

史跡地及び周知の埋蔵文化財の調査を随時実施し、埋蔵文化財の適切な記録及び保存を実施。

恵美須ヶ鼻造船所跡発掘調査

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

未指定文化財等の総合的な把握及び文化財指定、整備を計画的に行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



重要文化財の保存修理
(国指定重要文化財大照院)



伝統的建造物(門)の保存修理
(浜崎伝建地区)



史跡等整備基本計画策定
(国指定史跡萩反射炉整備委員会)



埋蔵文化財の発掘調査
(国指定史跡恵美須ヶ鼻造船所跡)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
①文化財の普及・啓発 ②文化財の防災			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	萩市は、文化財を大切に保存・活用し、萩にしかない宝物を次世代に確実に伝えることを宣言した萩まちじゅう博物館条例を平成16年に制定した。「文化財保護強調週間」には、文化財に親しんでもらうことを目的とした文化財の公開や史跡めぐりなどの行事を実施しており、「文化財防火デー」には、消防署、文化財所有者等の協力を得て防火訓練などの文化財防火運動を展開している。また、このような行事のほかに保存修理工事の際は、できる限り現場見学会や住民参加型のイベントを実施し、さらには広報紙等を活用して文化財情報を市民に発信するなど文化財の保存及び活用の普及・啓発を図っている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成27年7月に萩反射炉をはじめとする萩市の5資産を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録された。これに伴い、世界文化遺産関連資産については、広く普及・啓発が行なわれ、ガイド活動も盛んに展開されている。また、萩藩校明倫館内にある旧明倫小学校も「萩・明倫学舎」として学ぶ観光の新たな起点施設として整備され、官民連携の下その活用に取り組んでおり、多くの来訪者を迎えている。その他の文化財については、文化財保護指導員や地域住民と協力し、セミナーや見学会等の機会を捉えて各地域の文化財の普及・啓発に努めている。さらに、未指定文化財の調査などを進めるとともに、まちじゅうに広がる文化遺産の調査・記録・認定の事業を継続し、萩全域での文化遺産の再発見と保全に務めている。			
【平成29年度主要事業】 ・文化財防火訓練 萩・明倫学舎において、文化財防火デーに合わせ施設管理者や住民、消防本部の参加を得て、文化財の防火に関わる講義と実際に 소화栓を使用した防火訓練を実施した。(平成30年1月20日) ・文化財の修理見学会 国指定国指定重要文化財 大照院本堂・経蔵保存修理現場の一般見学会を実施した。(平成29年9月30日) ・文化財の維持管理 堀内町内会や平安古町内会により国選定重要伝統的建造物群保存地区内の清掃を年間を通じて定期的に実施した。 ・文化財保存団体の研修 伝統的建造物群保存地区内の保存団体等の代表者4名が全国伝統的建造物群保存地区協議会住民研修会(茨城県桜川市)に参加した。(平成29年5月24日～平成29年5月26日) ・世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」に係るガイド研修会 日頃から世界遺産関連施設においてガイドを行っている方を対象として研修会を実施した。(平成30年1月23日) ・文化財の利活用 佐々並市伝統的建造物群保存地区内に旧小林家住宅(萩往還おもてなし茶屋)を開館。地元団体の萩往還佐々並どうしんてやろう会が管理・運営を実施。 ・文化財の普及啓発 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」に係る萩の産業遺産群を対象とした絵画募集・フォトコンテストを実施した。 ・文化遺産(おたから)の調査、認定、公開 萩まちじゅう博物館に点在するおたから(文化遺産)を調査し、後世に継承すべきおたからとして認定するとともに、これらをデータベース化して公開する事業に市民とともに取り組んだ。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		来訪者が増加したことに伴い、保護の観点から定期的なモニタリング等に基づく各構成資産の適切な管理と保存が必要である。	
状況を示す写真や資料等			
			
文化財防火訓練(文化財防火デー) 【明倫小学校本館(国登録有形文化財)】 平成30年1月20日(土) (60人)		文化財の修理見学会 【大照院本堂・経蔵(国指定重要文化財)】 平成29年9月30日(土) (100人)	
		保存地区住民による清掃 【堀内伝統的建造物群保存地区】 堀内町内会伝建委員会が中心となり、保存地区内の主要箇所の草刈りや清掃を定期的に実施。(H29 915人)	
			
ガイド研修会 【世界文化遺産】 平成30年1月23日(火) (30人)		文化財の利活用 【佐々並市伝統的建造物群保存地区】 平成29年4月15日(土) 旧小林家住宅(萩往還おもてなし茶屋)開館 (H29 4,777人)	
		萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業 【江向地区、相島地区の2地区】 平成29年5月1日(月)～平成30年3月31日(土) 萩のまちじゅうに広がる文化遺産の調査・記録・認定・公開を行う事業 (H29 1,075人)	
※()は集客数			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
①文化財施設等の活用		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 市内全域には国指定等文化財、県指定文化財及び市指定文化財として名勝及び天然記念物を除く総数が187件にのぼり、そのほとんどは歴史観光を基軸とする萩観光の資源であることから、標識や解説板などを整備し、市民をはじめ観光客に一般公開している。特に、内部を公開している文化財については、関連する史料の展示や年中無休のボランティアガイドによる案内、解説を行うとともに、四季を通して催し物を開催している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の活用については、NPO萩観光ガイド協会や各まちづくり団体、実行委委員会等と連携し、史跡や文化財建造物・歴史的風致形成建造物の一般公開を進めるとともに、各催事等の舞台として積極的な利活用を図った。また、伝統行事や萩焼などの伝統的工芸品についても、活動支援や普及啓発に繋がる事業を行った。

主な事業等

【平成29年度】

萩城跡ライトアップ、萩焼まつり、萩・大茶会、須佐湾遊覧船、萩往還まつり「技・明木展」、萩・夏みかんまつり、萩・オープンガーデン、浜崎伝建おたから博物館、おしくらごう、萩夏まつり、萩・万灯会、着物ウィークin萩プレミアム、萩竹灯路物語プレミアム、秋の萩焼まつり、萩時代まつり、萩往還佐々並おいでん祭、萩ものしり博士検定、萩城下町マラソン、萩城下の古き雛たち、萩・椿まつり、萩・幕末維新検定、萩往還ワンデーウォーク2017

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

平成29年度 文化財施設等活用イベント



文化財施設ライトアップ
【萩駅舎(登録有形文化財)】

通年: 日没～22:00
萩城跡、萩駅舎等のライトアップイベント



萩往還まつり「技・明木展」

【萩往還(史跡)】

平成29年5月3日(祝・水)・4日(祝・木)
萩往還沿いの明木地区の町並みを活用したイベント (10,000人)



萩・夏みかんまつり

【萩市平安古地区重要伝統的建造物群保存地区ほか】

平成29年5月13日(土)・14日(日)
夏みかんの花の香りとともに萩の町並みや夏みかん製品を広くPRするイベント
(5,611人)



須佐湾遊覧船

【須佐湾(名勝及び天然記念物)】

平成29年4月29日(土)～10月31日(火)
名勝である須佐湾を広くPRするため運航
(1,633人)



萩オープンガーデン

【菊屋家住宅(重要文化財)、口羽家住宅(重要文化財)、旧湯川家屋敷(市指定史跡)、渡辺高蔵旧宅ほか全27施設】

平成29年5月13日(土)～5月21日(日)
文化財施設や民間住宅のお庭巡りを楽しんでもいただくイベント (6,000人)



着物ウィークin萩プレミアム

【萩城城下町(史跡)ほか】

平成29年10月1日(日)～22日(日)
和の装いで、江戸時代の趣を残す萩の町並みを楽しんでいただくイベント
(10,800人)

※()は集客数

状況を示す写真や資料等



萩・竹灯路物語プレミアム

【萩城城下町(史跡)ほか】

平成29年10月6日(金)、7日～22日の土日
竹灯籠の灯りで、城下町を照らし夜の町並
みの魅力をPRするイベント (4,248人)



秋の萩焼まつり

平成29年10月6日(金)～9日(祝・月)
伝統的工芸品である萩焼を広く普及さ
せるためのイベント (12,900人)



萩往還佐々並おいでん祭

【萩市佐々並市重要伝統的建造物群保存地区】
平成29年11月19日(日)
佐々並市の町なみ散策とともに特産品を
PRするイベント(2,800人)



維新の里萩城下町マラソン

【萩城跡(史跡)、萩城城下町(史跡)ほか】
平成29年12月10日(日)

萩まちじゅう博物館を舞台に、全国から3,389
人の申込みがあり、2,808人が完走した。



萩城下の古き雛たち

【菊屋家住宅(重要文化財)、口羽家住
宅(重要文化財)ほか17施設】

平成30年2月3日(土)～4月3日(火)
萩市民が大切にしてきた雛人形を市内
の文化財施設に飾りまち歩きを楽しんで
いただくイベント (H29 20,498人)



萩・椿まつり

【笠山虎ヶ崎ヤブツバキ群生林(天然記念物)】
平成30年2月17日(土)～3月21日(水・祝)
椿の花の季節に、日本でも屈指の椿群
生林を楽しんでいただくイベント
(H29 43,234人)



萩往還ワンデーウォーク2018

【萩往還(史跡)】

平成30年3月24日(土)

萩往還を歩き、維新の志士が往来した歴
史ある街道を楽しむスポーツイベント

(1,376人)

※()は集客数

評価軸⑤

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	掲載紙等
【萩の産業革命遺産関連記事】		
「たたら製鉄遺跡」巡る観光バス運行へ	H29.4.7	毎日新聞
工業化挑んだ萩反射炉	H29.6.3	読売新聞
前田孫右衛門 絶筆の漢詩 世界遺産・萩反射炉築造推進 松陰神社で展示	H29.6.30	読売新聞
世界遺産5資産 萩市が修復計画 政府に提出	H29.7.4	朝日新聞
世界遺産登録2年 萩 取り組み着々と	H29.7.9	朝日新聞
城下町マラソン 世界遺産でロゴ 萩の5資産モチーフ	H29.8.21	朝日新聞
「明治日本の産業革命遺産」 ルート協議会が整備状況確認	H29.11.9	山口新聞
Tシャツ・タオルデザイン一新 萩城下町マラソン、世界遺産モチーフ	H29.11.28	中国新聞
世界遺産の街 3389人挑んだ 萩城下町マラソン	H29.12.12	朝日新聞
世界文化遺産 ガイド研修会 萩で内閣官房参与講演	H30.1.24	読売新聞
萩の世界遺産 雪景色	H30.1.25	毎日新聞
萩の世界遺産「恵美須ヶ鼻造船所跡」 24日に発掘調査現地見学会	H30.2.21	山口新聞
萩「恵美須ヶ鼻造船所跡」 世界遺産の現地見学会 24日開催、3月末埋め戻し	H30.2.22	毎日新聞
萩の西元さん最優秀賞 明治日本の産業革命遺産フォトコン	H30.3.14	山口新聞
【明治維新150年関連記事】		
日記、血判 晋作の決意 萩博物館で特別展	H29.4.1	読売新聞
晋作の偉業しのぶ 萩で墓前祭、焼香と吟詠	H29.4.9	読売新聞
高杉新作展きょう開幕 萩博物館 日記「游清五録」など25点	H29.4.14	読売新聞
明倫学舎5万人来館	H29.4.18	朝日新聞
萩・明倫学舎 5万人突破	H29.4.18	読売新聞
萩・明倫学舎 5万人 開館からわずか45日	H29.4.18	毎日新聞
先月開館の「萩・明倫学舎」来館者が5万人突破	H29.4.18	山口新聞
萩で奇兵隊パレード 白壁の町並み練り歩く	H29.5.6	読売新聞
晋作没後150年 奇兵隊が行く 萩市民ら扮装、城下町をパレード	H29.5.6	朝日新聞
「萩を歩く」観光情報誌 明治維新150年に向け市が作製	H29.5.13	山口新聞
古地図で巡る町と名所旧跡テーマに		
「長州ファイブ」漫画制作 鹿児島小学生と交流も 本年度事業計画決まる	H29.6.3	山口新聞
萩・明倫学舎来館10万人 開館から94日目	H29.6.6	読売新聞
「長州ファイブ」描いた記念漫画刊行へ	H29.7.6	朝日新聞
明治維新150年記念 萩市がバッジ製作	H29.8.10	山口新聞
維新150年バッジ製作 萩の実行委「なまこ壁」イメージ	H29.8.17	読売新聞
鹿児島と萩の児童30人 先人の志を学ぶ「薩長維新塾キッズ」が開校	H29.8.24	毎日新聞
萩・鹿児島市の児童明治維新を学ぶ 萩で薩長維新塾	H29.8.25	朝日新聞
来年の維新150年盛り上げよう 萩市が記念バッジ販売 1000個製作	H29.8.25	毎日新聞
萩・明治維新150年祭 多彩な催し市民が企画	H29.8.25	中国新聞
4色記念バッジ販売 萩	H29.9.12	朝日新聞
「萩・明倫学舎」本館 入場者20万人突破	H29.10.4	毎日新聞
萩・明倫学舎20万人 開館7カ月で	H29.10.4	山口新聞
萩・明倫学舎20万人 開館7か月 年間目標の2倍	H29.10.11	読売新聞
高杉晋作の切手 維新150年で販売 萩などで10日から	H29.11.9	朝日新聞
晋作オリジナル切手発売	H29.11.15	読売新聞
史実は残し交流深めよう 会津藩校日新館長 萩で講演	H29.11.27	朝日新聞
萩の関連事業幕開け 維新150年、20・27日イベント	H30.1.18	山口新聞
萩・明治維新150年 オープニングイベント開会式 今年の16事業発表	H30.1.21	毎日新聞
第73期本因坊戦第1局 萩・明倫学舎で開催 5月15、16日	H30.1.21	毎日新聞
「新たな幕開けに」「胎動の地」萩でオープニングイベント	H30.1.21	山口新聞
萩、維新イベント続々 市民館で開会式、PR大使任命	H30.1.22	朝日新聞
有備館 剣槍術の聖地に 旧萩藩校武道場 6月に剣道大会	H30.2.1	山口新聞
明倫学舎で本因坊戦 5月、井山七冠が対局	H30.2.2	朝日新聞
明治維新150年「胎動の地」オープニングイベント 萩市	H30.2.3	観光経済新聞
「維新150年盛り上げよう」萩市「観光シーズン開き」フグ鍋や旅の安全祈願も	H30.2.6	毎日新聞
17日から椿まつり、維新150年イベント多彩 萩観光シーズン開き	H30.2.6	山口新聞
萩・明倫学舎30万人 11か月で目標の3倍に達する	H30.2.10	読売新聞
明倫学舎入場者30万人 萩の観光施設 開館343日目突破	H30.2.10	山口新聞
「萩・明倫学舎」本館入場者 1年弱で30万人突破	H30.2.10	毎日新聞
明治維新胎動の地・萩 記念の年に新たな幕開けを	H30.2.28	山口新聞
1月20日に「萩・明治維新150年オープニングイベント」		
萩・明倫学舎 好調30万人 開館1年、年間目標の3倍超	H30.3.1	読売新聞

【その他計画に関連する記事】		
松陰顕彰 122人が吟詠 コンクール全国大会	H29.4.3	毎日新聞
健やかな成長願い 萩の藍場川で流し雛	H29.4.4	山口新聞
大和さん「萩茶碗」山口伝統工芸展最優秀 県立萩美術館・浦上記念館できょう開幕	H29.4.13	山口新聞
あす「おもてなし茶屋」開店	H29.4.14	毎日新聞
古い町家改装 交流拠点に「おもてなし茶屋」オープン	H29.4.20	山口新聞
毛利敬親と世界遺産を紹介「萩ものがたり」が最新刊2冊出版	H29.4.29	山口新聞
萩焼まつり 2万点並ぶ 茶わんや皿、置物など	H29.5.2	読売新聞
2万点に目移り 萩焼まつり開幕	H29.5.2	朝日新聞
萩焼まつり始まる 2万点を展示・販売 焼き物ファン品定め	H29.5.2	毎日新聞
食卓彩る器を求めて 萩焼まつり開幕	H29.5.2	山口新聞
維新が薫るレトロ空間 萩・明倫学舎	H29.5.2	中国新聞
萩往還まつり きょうまで 街並み飾る 工芸家の秀作	H29.5.4	毎日新聞
工芸家ら90店出店 萩往還まつり 技・明木展	H29.5.4	読売新聞
昔ながらの町並み満喫 萩往還まつり始まる 工芸品など90店も	H29.5.4	山口新聞
市内4流派がお点前を披露 萩の城下町で大茶会	H29.5.4	山口新聞
走って歩いて気分は志士 萩往還マラニックに2200人	H29.5.6	中国新聞
夏みかんの花 開花宣言 萩	H29.5.9	読売新聞
夏ミカン 実り待つ花 萩	H29.5.12	朝日新聞
萩夏みかんまつり	H29.5.12	読売新聞
萩ものがたり第53、54巻出版	H29.5.12	毎日新聞
萩の夏ミカン 花の香り街に満ちあふれ	H29.5.13	毎日新聞
花や香り楽しみジュース味わう 萩で夏みかんまつり	H29.5.15	山口新聞
「萩ものがたり」新刊 毛利敬親と世界遺産	H29.5.17	朝日新聞
お宝・大名行列披露 萩	H29.5.23	朝日新聞
代々伝わる「お宝」公開 今年が節目の20回目 大名行列が特別参加	H29.5.23	毎日新聞
各家自慢の品を浜崎地区で展示 萩、おたから博物館	H29.5.23	山口新聞
萩往還を歩く「全校登山」 団結深め歴史も体感	H29.6.1	読売新聞
萩で和船競漕おしくらごう こぎ手に1万5000人声援	H29.6.5	毎日新聞
『おしくらごう』勇壮に 白熱の和船大競漕	H29.6.5	山口新聞
勇壮 和船レース 萩	H29.6.9	朝日新聞
萩の魅力「おたからマップ」 歴史・名物満載 市内16地区分が完成	H29.6.14	朝日新聞
現在の萩焼の姿紹介 東京で若手作家6人展	H29.7.7	山口新聞
幕末史と伝統をいまに 萩・明倫学舎	H29.7.22	毎日新聞
夏休みイベント満載 児童が萩焼づくり 萩	H29.7.28	山口新聞
萩の夏の風物詩 万灯会「迎え火」 13日、600基の石灯籠に明かり	H29.8.9	山口新聞
毛利家墓所で「万灯会」 13日「迎え火」、15日「送り火」	H29.8.10	西日本新聞
萩焼を身近に感じて 萩東中で出前教室 生徒24人が作陶挑戦	H29.8.11	毎日新聞
萩焼づくり 出前講座 萩東中24人体験、皿やマグカップ	H29.8.11	山口新聞
県内作家21人の作品 萩で現代工芸美術展	H29.8.29	朝日新聞
古地図でめぐる 秋クーポン販売 萩市観光協会	H29.9.5	山口新聞
古地図や古道で魅力再発見 萩往還約23kmをサイクリング	H29.9.8	西日本新聞
古地図を手にもちあそび 山口県内を中心に28コースで		
作家と子どもの萩焼作品展 萩市「渡辺萬蔵旧宅」花器や茶わんなど27点	H29.9.15	山口新聞
「日本工学の父」山尾庸三に脚光 萩できょうから企画展	H29.9.16	朝日新聞
「長州ファイブ」山尾庸三 きょうから没後100年展 萩博物館	H29.9.16	毎日新聞
長州ファイブ・日本の工学の父 山尾庸三 没後100年展	H29.9.17	山口新聞
山尾庸三の遺品紹介 萩博物館 優等証や手紙など100点	H29.9.20	読売新聞
萩で着物ウィーク 22日まで	H29.10.2	毎日新聞
萩城下町「着物ウィーク」開幕 市民50人がそぞろ歩き	H29.10.2	山口新聞
「幕末の萩」功績を紹介 「萩ものがたり」53、54号	H29.10.3	読売新聞
毛利家菩提寺 修復を完了 萩・大照院「再興時の姿よみがえる」	H29.10.3	毎日新聞
「萩焼まつり」開幕 田町商店街 日用品や美術品など1万点並ぶ	H29.10.7	山口新聞
萩城下町で着物ウィーク 22日まで 飲食、工芸店で割り引きも	H29.10.7	西日本新聞
商店街「萩焼ロード」に 1万点出品 あすまで	H29.10.8	読売新聞
萩焼まつりに大勢の観光客 きょうまで 窯元や卸売り27社参加	H29.10.9	毎日新聞
有備館で池坊萩支部展 生け花作品60点、きょうまで	H29.10.15	山口新聞
萩・大照院、1750年代の姿復活へ 毛利家の菩提寺 月末に修理終了	H29.10.18	朝日新聞

萩の城下照らす竹灯籠4000本 21、22日イベント	H29.10.19	毎日新聞
「再興の姿復活」大照院で完成式 萩、保存修理終わる	H29.11.5	朝日新聞
大照院本堂美しく 萩の国重文 保存工事が完了	H29.11.8	山口新聞
「萩ものがたり」2冊を出版	H29.11.10	毎日新聞
「草履舞」披露 萩時代まつり 14団体700人練り歩く	H29.11.14	朝日新聞
維新の里 駆け抜ける 萩城下町マラソンきょう号砲	H29.12.10	朝日新聞
萩城下町マラソン2800人が力走	H29.12.12	山口新聞
松陰門下生 2人に脚光 「萩ものがたり」2刷発行	H29.12.24	朝日新聞
茶陶の県内作家中心に160点展示 萩の浦上記念館で企画展	H29.12.25	山口新聞
松陰最後の門下生や絵師紹介 萩ものがたりが2冊子出版	H29.12.31	山口新聞
萩往還ガイド元気に安全に 語り部の会が祈願	H30.1.11	山口新聞
「萩・明倫学舎」で初期消火講習	H30.1.21	山口新聞
シロウオ卵産んで 萩の松本川 組合が産卵場づくり	H30.1.24	毎日新聞
萩、シロウオ豊漁願い 産卵場整備へ投石作業	H30.1.24	山口新聞
萩に登り窯が完成 陶芸の村 火入れし試し焚き	H30.2.2	読売新聞
「萩城下の古き雛たち」開幕 華やか 人形1200体 文化財施設など17ヵ所展示	H30.2.4	毎日新聞
萩の観光客数3.3%増 昨年142万870人 明倫学舎など人気	H30.2.9	読売新聞
萩往還、清掃し交流も 萩高と萩商工高の生徒40人	H30.2.11	山口新聞
萩市の陶芸の村公園に整備 登り窯の試しだき 春から運用へ焼き上がりを確認	H30.2.12	山口新聞
旧萩市内観光客 2年ぶり増 昨年142万人、「明倫学舎」けん引	H30.2.13	山口新聞
「萩城下の古き雛たち」展示	H30.2.14	山口新聞
萩でシロウオ漁の豊漁祈願祭	H30.2.18	山口新聞
萩地域の観光客3.3%増加 142万人 昨年 維新の催し奏功	H30.2.22	朝日新聞
門下生からみた松陰 証言や肖像画の解説 「萩ものがたり」55、56号発刊	H30.2.25	読売新聞
春告げるシロウオ漁 萩	H30.2.27	読売新聞
ひな人形、お屋敷で華やか 萩 江戸期以降の1千数百体	H30.3.2	朝日新聞
躍り食い長蛇の列 「萩・しろ魚まつり」	H30.3.5	毎日新聞
ツルッ のど越し不思議 「萩・しろ魚まつり」	H30.3.6	朝日新聞
・製鋼、造船、石炭産業」が、世界文化遺産に登録されたことや平成30年の明治維新150年に向けた記念事業の関連情報が報		
歴史的風致維持向上計画の着実な推進などにより、全国に先駆けて歴史的な景観や貴重な遺産を大切に保存してきた大きな成果として、平成27年7月に市内5つの構成資産を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が、世界文化遺産に登録されたことや平成30年の明治維新150年に向けた記念事業の関連情報が報道された。また、平成29年3月にオープンした「萩・明倫学舎」は、藩校明倫館跡地にある旧明倫小学校校舎棟を整備・活用していることから、全国的な話題となった。このほか計画に記載している各種イベントや市内でロケのあったテレビ番組が全国に配信され、萩の歴史文化や町並み、また、これらを活用した各種取組の周知が図られた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施にあたっての課題(自由記述)	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	各事業の報道を行ってもらうために、各メディアに対する細かな情報提供や萩らしい特色ある事業の実施が重要である。	

評価軸⑥

その他(効果等)

評価対象年度

29年度

項目

萩市歴史的風致維持向上計画(全体)

計画に記載
している内容

萩市では、市内に豊富に遺存する文化遺産を将来にわたって確実に継承していくため、文化財保護に努めるとともに、歴史的景観の保存に取り組んでいる。

本計画は、萩の豊かな歴史的風致の維持及び向上を図り、萩市におけるまちづくりの基本理念「市民自らが考え、主体的に取り組む市民本位のまちづくり」、「誇るべき歴史・文化・豊かな自然に調和し、新たな価値を創造する活力と魅力あるまちづくり」を実現するための計画のひとつとして位置づけ、策定にあたっては、関連する「萩市景観計画」及び「萩市都市計画マスタープラン」との整合性を図ることとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

萩市歴史的風致維持向上計画に基づき、一元化した実施体制を構築するとともに市民団体と協働により計画を推進している。

具体的には、①重点区域における良好な景観形成のための事業と②歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する各事業を進めたことにより、各イベント参加者数、萩市全体の観光客数が高水準を維持しており、観光振興並びに地域経済の活性化への効果があった。

また、2015年7月に世界遺産へ登録された「明治日本の産業革命遺産」に、萩市の5資産が含まれるなど、これまでの取組みの成果が現れている。

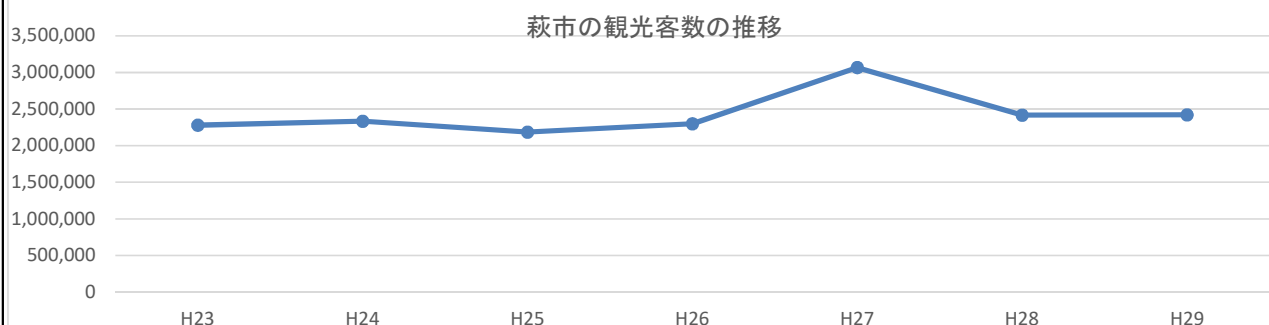
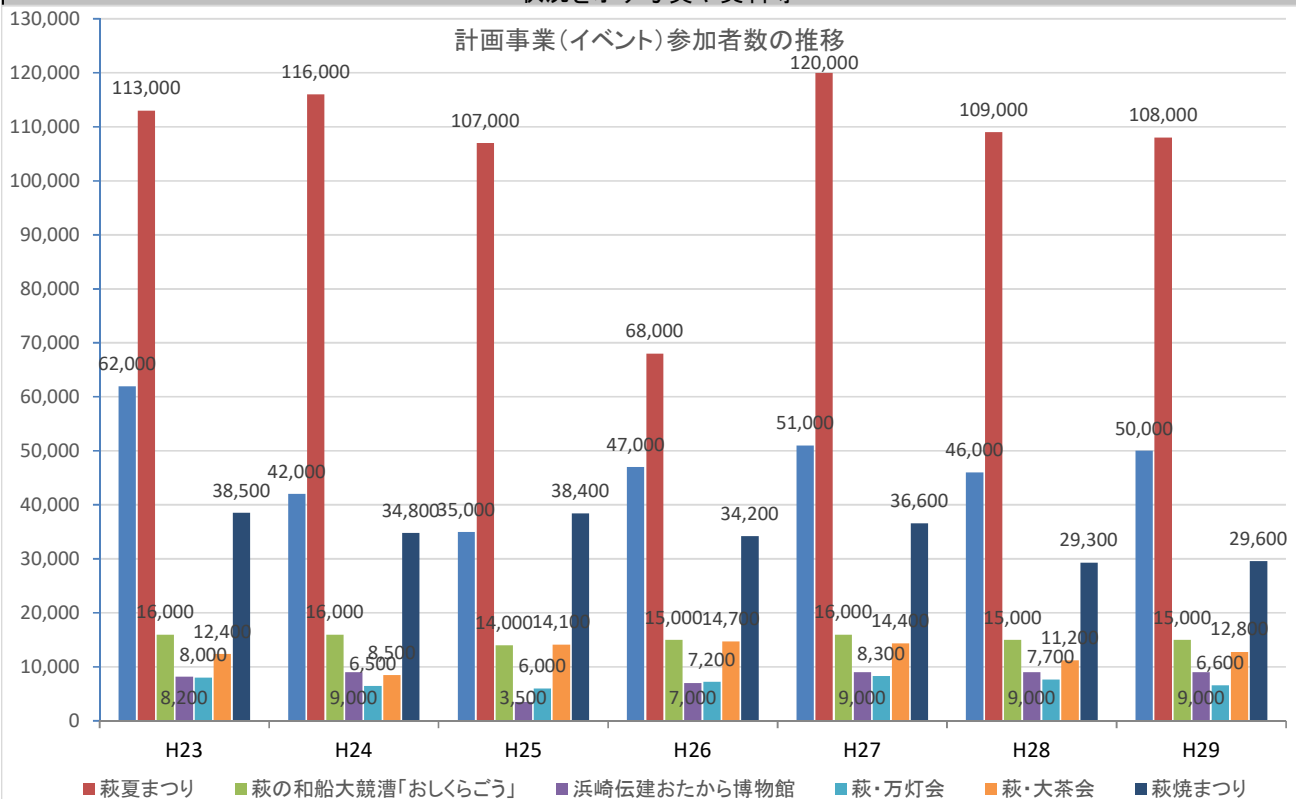
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	平成29年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 萩市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 平成30年3月26日	
(コメントの概要)	
協議会議事 (1) 萩市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について ⇒担当者より評価シートについての説明 (2) 第2期萩市歴史的風致維持向上計画について ⇒担当者より第2期計画について概要を説明 (3) その他 コメント等 今後予定されている文化財関連事業に係る位置付けの確認	
(今後の対応)	
萩市歴史的風致維持向上計画は、平成30年度までとなっており、計画期間内の事業のみを記載している。平成30年度は、既存計画を推進するとともに第2期萩市歴史的風致維持向上計画の策定を進め、31年度以降も継続して歴史的風致の維持向上に努めていく。	